

# 主催者挨拶

園部町・八木町・日吉町・美山町合併協議会 会長

野中二三三 園部町長



本日は、山田啓二京都府知事様、田中英夫衆議院議員様、小泉顕雄参議院議員様をはじめ、多くの来賓の皆様方のご臨席をいたたくとも、各町議会議員の皆様方にご出席をいたたく中で、盛大に合併協定調印式を開催できますことを、まず心から厚くお礼を申し上げます。また、今日までご尽力をいただきました合併協議

会委員各位の皆様、奥村事務局長をはじめとする事務局職員、各町職員の皆様の努力に対しましても、改めて厚くお礼を申し上げたいと存じます。

私達は、約3万7千人の住民の皆様のご将来の幸せを考えて、合併の協議を進めてまいりました。

今後、4町に格差が生じず、住民の皆様が将来合併をして良かったと感じていただけるような、農村にいま一度人が住める環境づくりをしたいというのが、私達の願いでございます。

今、全国的には、農村問題が大変な岐路に立たされております。特にお米の問題については、平成22年度には消費者と生産者が自由に販売のできる体制となり、行政から手を離れていくという状況となります。

当地域では、農村の基盤整備を行ってきましたが、多くの投資をして整備した農地が放置され、木が生えるような状態にしてはならないと考えております。しかしながら、独居老人を含む老人家庭が多くなる周辺農村部という一面を持つており、このまま何もしなければ、この地方はもちろん、全国的にも山林や農地が放置をされ、水不足すらきたすような状態になると言

っても、私は言い過ぎでないと思っております。地域の農業をどのように支えていくのか、どのような組織づくりをしていくのかという多くの課題を合併と同時に抱えることも事実ですが、これ以上過疎は作らない、できるだけ住民の皆様にご定着をしていただけるような、そして願わくば、送り出した若い人にもう一度地域に帰っていただけるような施策を、みんなで知恵を出さなくてはならないのが、この4町合併の最大の課題だと思っております。

この後、合併調印を行います。これで終わりという訳ではございません。合併調印が行われたら、その場からの第一歩の発足であると思っております。この発足を意義あるものとして、農村にもう一度人の住める環境づくりに取り組んでいただくことを、合併協議会の会長として、この場を作っていただきました関係の皆様にご理解をお願いいたします。

また、本日お越しの、山田知事、田中衆議院議員、小泉参議院議員をはじめとする皆様方に対しまして、この地域の農村がより活性化できるようなお力添えをいたたくことを心からお願い申し上げます。主催者の挨拶といたします。ありがとうございました。

# 町長挨拶

## 開会挨拶

園部町・八木町・日吉町・美山町合併協議会副会長

岸上吉治 八木町長



多くの来賓の皆様方をお迎えして、4町合併協定調印式を盛大に挙行できますことを心から感謝申し上げます、皆様と共に喜びあいたいと思います。

昨年4月に合併協議会を設置して以来、4町の独自性・主体性を尊重しながら、ゆるやかな合併に向かって進めようという基本理念の基に、協議会の各委員の皆様には精力的にお取り組みをいただき、本年1月28日に1、374に及び協議を全て決定いただくことも、3月7日には合併協定項目のご確認をいただきましたが、この間、多くの皆様からご協力、お支え、ご指導をいただきながら、本日の調印式を迎えることになりましたところです。

皆様のご協力のもと、滞りなく調印式が終了いたしますことを心から祈念申し上げます、開会のご挨拶とさせていただきます。

## 調印後挨拶

園部町・八木町・日吉町・美山町合併協議会副会長

仲村 脩 日吉町長



合併に関しましては、それぞれの町の歴史、また先人達のご苦労、そして郷土への愛着心など、数え上げればきりが無いほどの問題がございます。

この4町の合併につきましても、多くの課題がございましたが、ここに無事調印をできましたことは、ひとえに4町の理事者のもとより、合併協議会の委員の皆さん、また事務局員を始めとする4町の全ての職員の皆さん、そして多くの町民の皆さんの熱い思いとご苦労でございまして、心から厚く感謝を申し上げます。

私達は、それぞれの地域で暮らす皆様方の誇りと愛着を大切にしながら、ふるさとに誇りと希望を持ち、そしてぬくもりを感じる事ができるような南丹市の発展に向けて、全力を尽くしてまいります。今後とも、皆様方のご理解とご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます、お礼のご挨拶とさせていただきます。

## 閉会挨拶

園部町・八木町・日吉町・美山町合併協議会副会長

中島三夫 美山町長



園部町・八木町・日吉町・美山町、4町の合併協議が整い、合併調印式が、厳粛に滞りなく無事挙行できましたことにつきまして、皆様方と共に大きな喜びとするところでございます。心より厚くお礼を申し上げます。

今後は、各町議会におきまして議決を賜り、京都府知事への廃置分合の申請を経て、4月1日より新しく合併準備局を設置することにも、今日まで調整してまいりました項目につきまして、平成18年1月1日の南丹市の発足に向けて、準備万端進めてまいりたいと存じております。

ご臨席賜りました皆様方には、今後とも、ご指導とご協力を賜りますようお願いを申し上げます、誠に簡単粗辞でございますけれども、本日閉式にあたりましてのご挨拶に代えさせていただきます。